

重点課題7 男女共同参画の視点に立った地域づくり及び防災の推進

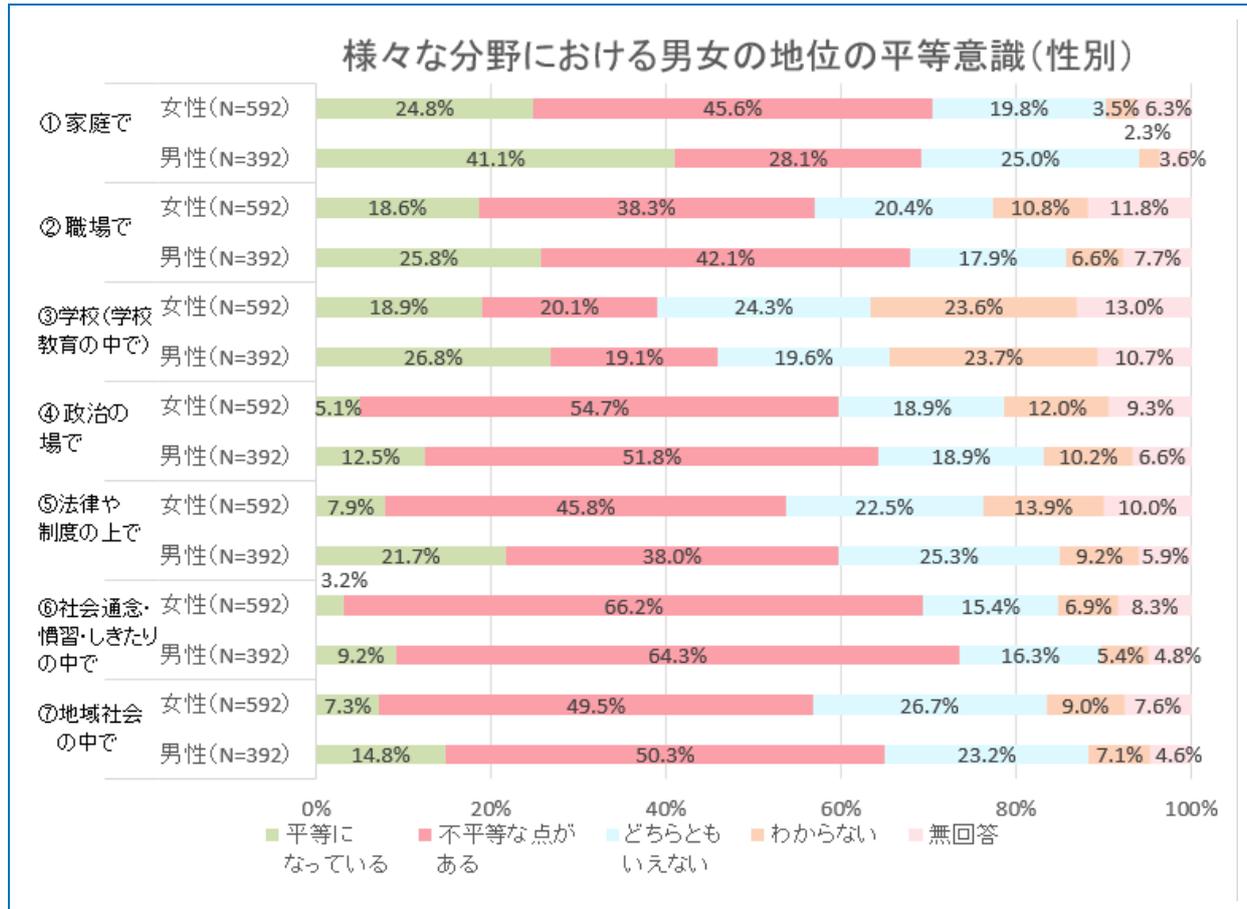
施策の方向 (1) 地域社会における男女共同参画の推進

施策の方向 (2) 男女共同参画の視点に立った防災体制の確立

1 統計情報等

(1) 様々な分野における男女の地位の平等意識

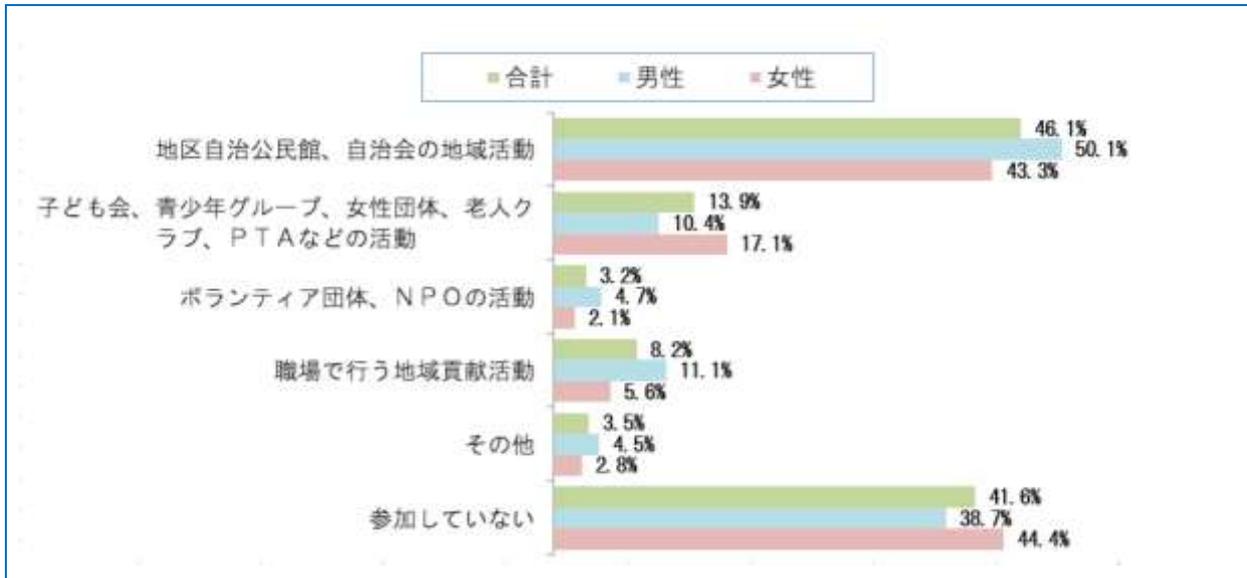
令和3年度に実施した市民意識調査によると、男女ともに「社会通念・慣習・しきたりの中で」、不平等と感じている割合が高い。



(令和3年度霧島市男女共同参画に関する市民意識調査)

(2) 地域における活動への参画状況

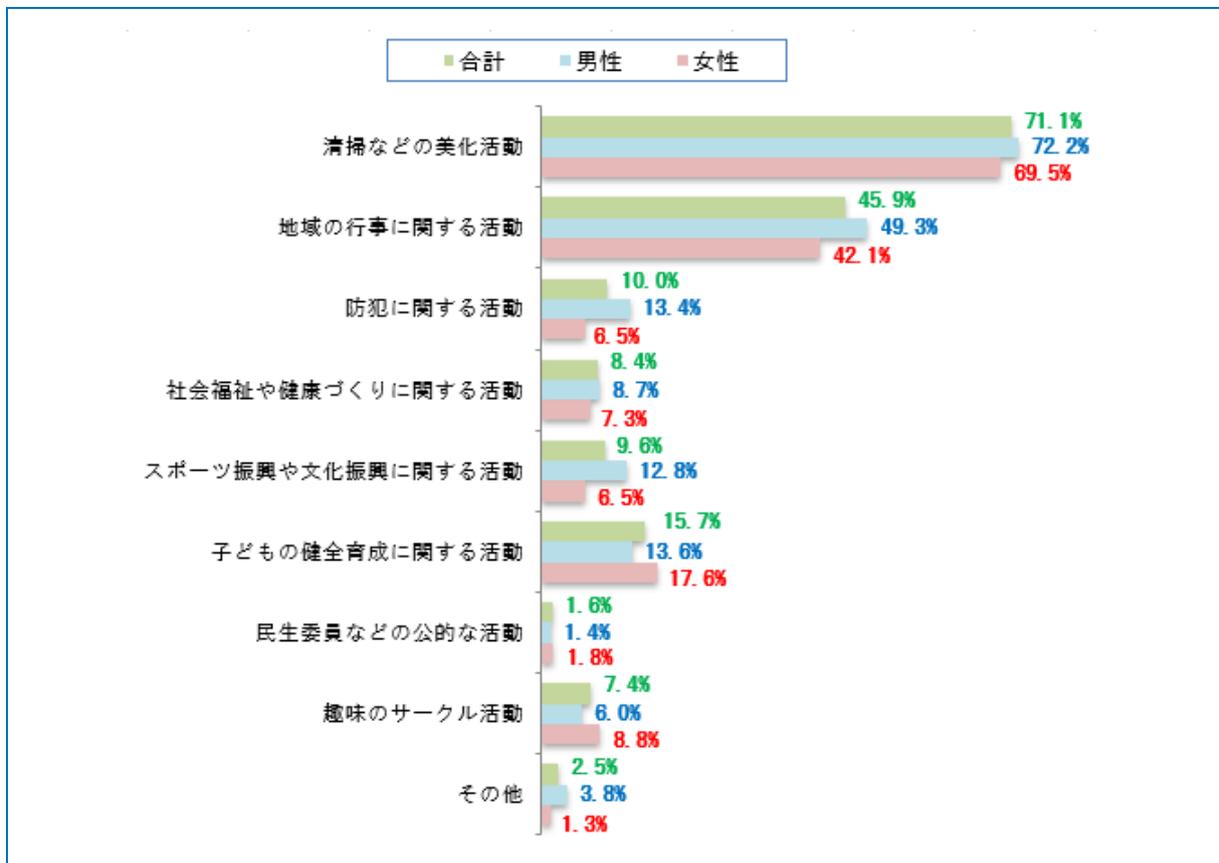
令和4年度市民意識調査によると、地域活動等への参加について男性、女性共に「地区自治公民館、自治会の地域活動」が最も多い。また、男女ともに「参加していない」が40%を超えている。



(令和4年度霧島市総合計画進行管理に係る市民意識調査) (N=1,335【男性597 女性719】)

(3) 地域活動の内容について

市民意識調査によると、地域活動の内容について、「清掃などの美化活動」(71.1%)が最も多く、次いで「地域の行事に関する活動」(45.9%)となっている。



(令和4年度霧島市総合計画進行管理に係る市民意識調査)

2 事業実施状況

施策の方向（1）地域社会における男女共同参画の推進

具体的施策① 地域における男女共同参画社会づくりに向けた人材の育成

具体的施策② 地域コミュニティ活動への男女共同参画の視点の導入

男女共同参画の視点	市全体で男女共同参画を推進していくためには、行政だけではなく、各地域の中で、それらの特性を踏まえて推進していくことが重要であり、そのために核となる人材を育成する仕組みが必要である。
主な取組	地域における男女共同参画意識や地域コミュニティ意識の醸成を図るとともに、男女共同参画の視点に立った地域づくりを推進することを目的に地区別セミナーを開催している。（令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため開催していない。）（市民課）

具体的施策③ 地域コミュニティ活動に関わるきっかけづくり

具体的施策④ 地域コミュニティ活動への参加促進のための活動支援

男女共同参画の視点	<p>「地域」は、家庭とともに人々にとって最も身近な暮らしの場であり、地域における男女共同参画の推進は、男女共同参画社会の実現にとって重要である。地域においては、高齢化・過疎化の進行、人間関係の希薄化や単身世帯の増加等の様々な変化が生じており、男女が共に担わないと立ち行かなくなる状況となっている。こうした中で行政だけでなく、一人ひとりが加わって地域力を高め、持続可能な社会を築くには、地域における男女共同参画が不可欠である。</p> <p>また、地域づくりに当たっては、地域で生活する人々のライフスタイルや価値観、暮らしに関わる課題は様々であることを踏まえ、多様な視点を持った人々が地域における政策・方針決定過程に参画できる機会を確保することが重要である。</p>								
主な取組	<p>① きりしま地域人材バンクにおいて、ボランティア登録者の技術・資質向上、相互の交流を深めるため、研修会を開催した。（社会教育課） 開催日：令和5年3月18日 午前・午後2回開催（国分公民館）</p> <p>◎「コミュニケーションを円滑に！カラーセラピー ストレスとの上手な付き合い方」（一般登録者 39名参加）</p> <p>◎「自分らしさを活かすファッション&カラーセラピー」（学生登録者 16名参加）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア登録者数</td> <td>1,589人</td> <td>1,569人</td> <td>1,565人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	R 2	R 3	R 4	ボランティア登録者数	1,589人	1,569人	1,565人
年 度	R 2	R 3	R 4						
ボランティア登録者数	1,589人	1,569人	1,565人						

<p>主な取組</p>	<p>② 自治会加入推進月間の4・5月に、市自治公民館連絡協議会と連携し、自治会未加入世帯に対して自治会加入を呼びかけた。併せて、加入促進に関する協定書を締結した、公益社団法人鹿児島県宅地建物取引業協会など県下不動産2団体へ自治会加入に関するリーフレット等の配布を依頼した。 (市民活動推進課)</p> <p>③ 地域住民が主体となって地域の特色を生かした独自のテーマや目標を設定し、その実現に向けて意欲的に取り組む地域の活動の支援を行った。 (市民活動推進課)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【事業概要】</p> <p>1 年 目…地域まちづくり委員会を組織し、地域の現状分析を行い、市に報告書を提出する。</p> <p>2 年 目…地域の10年後を見据えた地域まちづくり計画を策定する。</p> <p>3年目以降…計画の目標達成に向けて、毎年、実施計画書を作成し、自助・互助・公助による地域づくりを行う。また、5年ごとに地域を取り巻く状況の変化に対応するため、計画の見直しを行う。</p> </div> <p>(地域まちづくり計画策定状況)</p> <table border="1" data-bbox="502 920 1329 1021"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画見直し事業</td> <td>27地区</td> <td>7地区</td> <td>16地区</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 市民グループが行う公益的なサービスを提供する（地域の課題解決に向けた取組）活動で、自ら企画・提案し実施する事業を募集し、その経費の一部に対し補助金を交付した。 (市民活動推進課)</p> <table border="1" data-bbox="502 1167 1281 1267"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採択事業数</td> <td>7事業</td> <td>7事業</td> <td>7事業</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	R 2	R 3	R 4	計画見直し事業	27地区	7地区	16地区	年 度	R 2	R 3	R 4	採択事業数	7事業	7事業	7事業
年 度	R 2	R 3	R 4														
計画見直し事業	27地区	7地区	16地区														
年 度	R 2	R 3	R 4														
採択事業数	7事業	7事業	7事業														

施策の方向 (2) 男女共同参画の視点に立った防災体制の確立

- 具体的施策① 防災分野における女性の参画拡大
- 具体的施策② 男女共同参画の視点に立った防災及び災害対応

<p>男女共同参画の視点</p>	<p>① 災害発生時には、日常的になっている性別役割分担の意識が顕在化しがちである。この問題の背景にあるのは、防災、災害対応に女性の視点が入っていないこと、子育てや女性への配慮が足りないということ、さらには、平時における防災の検討や避難所運営など災害の現場での意思決定に女性が参画していないことが挙げられる。そのため、市は、男女共同参画の視点から課題等を抽出し、防災分野における男女共同参画の取組に生かしていく必要がある。</p> <p>② 子どもや高齢者、災害時の要支援者など、多様な住民への対応力が求められるため、女性を含めた多様な経験を有する職員の採用に向けた取組が必要である。</p>
------------------	--

	<p>③ 人口減少社会を迎え、防災力の低下が懸念される中、多様化・大規模化する災害等に的確に対応するためには、これまで以上に自助・共助・公助が一体となって地域防災力を高めていくことが不可欠であり、女性を含めた多様な経験を有する消防団員の確保に向けた取組が必要である。</p>																				
主な取組	<p>① 霧島市防災会議への女性の参画状況 委員総数 40人 (うち女性委員3人：女性委員の割合7.5%) (安心安全課)</p> <p>② 鹿児島市等への就職説明会にて採用活動を行ったが採用試験受験者への確保には至らなかった。現在、在籍している女性職員の今後のライフスタイルの変化に合わせた働き方の情報共有として、県警本部での女性幹部職員との座談会を実施した。(消防局) 令和4年4月1日現在 消防団員数 男性：1097人 女性：23人 (女性団員の割合：2.10%)</p> <p>③ 防災に関する知識の普及として、出前講座を実施した。(安心安全課) ◎出前講座実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数</td> <td>11件</td> <td>23件</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,234人</td> <td>1,506人</td> <td>1,893人</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 防災の分野における男女共同参画の一環として、市避難所に女性職員を積極的に配置した。(安心安全課) (各年度4月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難所における女性職員の配置人数</td> <td>69人</td> <td>89人</td> <td>81人</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤ 男女共同参画の視点に立った避難所運営について、職員を対象とした防災研修を実施した。(参加者：108名) (市民課) 講師：鹿児島県専門防災アドバイザー 堀之内 広子 さん テーマ：災害時における避難所支援について —行政職員として避難・避難所支援を考える—</p>	年 度	R 2	R 3	R 4	実施件数	11件	23件	32件	参加者数	1,234人	1,506人	1,893人	年 度	R 2	R 3	R 4	避難所における女性職員の配置人数	69人	89人	81人
年 度	R 2	R 3	R 4																		
実施件数	11件	23件	32件																		
参加者数	1,234人	1,506人	1,893人																		
年 度	R 2	R 3	R 4																		
避難所における女性職員の配置人数	69人	89人	81人																		

3 数値目標の推進状況

項目	現状値 (計画策定時)		現状値		目標値	
	数値	年度	数値	年度	数値	年度
県男女共同参画地域推進員	9人	2016	6人	2022	9人	2022
まちづくりや地域活動を行っている市民団体数	1,491件	2016	1,224件	2022	1,530件	2022

